

平成 19 年度第 1 回法務委員会 (議事録抄)

日 時 平成 19 年 04 月 10 日(火) 1300 ~ 1700

場 所 操縦士協会事務局

出席者 熊坂、大久保理事、長谷川、染谷、友田、各委員

1 . 706 裁判のその後について

システム性事故の研究を行う。706 裁判については法務委員会としての見解を HP に掲載 → ドラフトを再度メールリングリストで流し、校正後掲載

2 . 事故に遭遇したらの小冊子作成について

引き続き GA 会員向けにわかりやすいように作成していく → パワーポインター 資料に書き換え作業を事務局に依頼予定。

3 . 安全な社会の実現を目指して

郷原先生については、引き続きコンタクト現況では難しい。
前回話に出た神奈川大学 堀野教授については、金曜日が可能、講演のポイントを絞る作業が必要 → 安全委員会とも話しをして方向性を決めるか、池内委員と委員長に一任していただく。

4 . 今期 43 期法務委員会の運営の仕方について

現段階で個別の事故などを扱っておらず、元仙波委員長の掲げてきた、調査・研究から実行の実行段階に移っているが、未だに調査研究の Phase を脱し切れていない。委員会の特殊性もあるが結果が目に見えない活動であるため、運営自体が難しい。

本来であれば、会員 Pilot の人権擁護、法的援助等を積極的に行いたい、公益法人と予算の関係で活動範囲が限られてしまう。

以上の理由から打開策として、以前にも実施していたが、航空の安全を側面から支援するという意味においては、安全委員会と志を同じくする面もあるので、試験的に合同で行ってみてはどうか。

この意見を踏まえ、安全委員長と話し合いをもつことにする。委員長対応 → 結果についてはメールリングリストで流す。

5 . 次回開催日程

5 月調整できれば第三金曜日 5 月 18 日を予定するが堀野先生との打合せもあり 6 月第三

金曜が濃厚です。